

教員免許更新講習シラバス（選択領域分）

講座内容についての問い合わせ先...koushin@nara-edu.ac.jp(奈良教育大学総務課)

講座名		主な受講対象者	時間	形態
社会科の授業内容への方法的接近		中高社会・地歴・公民教員	6 h	講義 その他
日程	定員	講師名（所属・職名等）		
8月11日(月)	40人	淡野 明彦（奈良教育大学・教授）		
会場	試験方法	根田 克彦（奈良教育大学・教授）		
奈良教育大学	記述式の試験	川上 文雄（奈良教育大学・教授）		
<p><b>【講座の概要】</b>                      社会科分野における個別で細分化されたトピックを扱うというよりも、全体的（システムの）、方法的なアプローチについての理解を深めることを目的とする。なお、担当の3名は、奈良教育大学の環境教育コース地域環境専修（総合教育課程）の主担当教員であり、広い意味での「まちづくり」「環境問題」に関心を抱いている。そこで、環境教育への方法的なアプローチについての理解を深めることも視野に入れておきたい。</p>				
<p><b>【小テーマ】地球規模の課題のシステムの考察（講師：淡野明彦）</b>                      現代社会には地球温暖化、水質汚染、砂漠化の進行、食料不足、貧富の格差の拡大など地球規模での深刻な問題が多発しているが、これらの現象を地理学の研究成果をもとにシステムの考察する方法を解説する。</p>				
<p><b>【小テーマ】地理情報システム（GIS）の観点からの地理教育（講師：根田克彦）</b>                      現在コンピュータをはじめとする情報通信機器の発達は著しい。コンピュータを用いた地理情報システム（GIS）はコンピュータで地図を作成できるだけでなく、地理教育における地理的見方・考え方を養うために有用である。本時間ではGISの意義と有用性を解説する。</p>				
<p><b>【小テーマ】市民性教育の方法と思想的基盤（講師：川上文雄）</b>                      中学校の社会科（公民分野）、高校の「現代社会」で実践可能なワークショップをみずから体験することにより、「分りあい、伝えあい 自己と他者をつなぐ」という社会関係（の形成）の核心に触れる学びの可能性 市民性教育の可能性 を実感する。また、いくつかの文献から引用して、このワークショップの思想的・理論的基礎・背景の理解を深める。さらに、このワークショップを出発点としてサービス・ラーニング（体験学習の一種）に発展させる道筋の理解を深める。</p>				